



全国の先進組合を紹介します！

テーマ：積極的な情報発信／松阪市よいほモール商店街振興組合（三重）

● 現状把握から個店の魅力や地域資源の発掘・発信力強化

<https://yoiho-mall.com/>

■背景・目的

組合設立当初からまつり等の際に、来街促進を目的にエンターテインメント活動を今日まで継続して企画・運営しているが、商店街にある公共施設が閉鎖することになり、客数や売上減少が懸念されていた。そこで施策を活用して、組合及び組合員の実態を把握し、個店の魅力再発見・情報発信の強化や地域資源の活用に取り組むこととなった。

■取組みの手法と内容

エンターテインメント活動については、イベントごとに理事メンバーが実行委員会を組織し、企画・運営を行っている。時代の流れや来街客のニーズを踏まえて、常に良いものにしようと取組み、組合員が参画できる座談会なども実施して広く意見を聴取し、内容を見直して、新規企画を取り入れ、改善を図っている。

商店街にあった公共施設の閉鎖に際して、来街者の減少、組合の賃借料と駐車場等の収入減少等が懸念される

中、関係機関の施策を連鎖的に活用してレベルアップを図り、組合だけではなく行政や関係先の意見も取り入れ、商店街及び個店の実態把握等に取り組んだことで、来街客の特性や観光客の増加傾向等を踏まえて個店の魅力再発見と情報発信の強化、地域資源の活用と回遊性の向上などの新たなビジョンを策定することができた。さらに、ビジョン策定だけに止まらず、国の施策を活用してビジョンの実現化にも取り組んでいる。

■成果とその要因

エンターテインメント活動においては、実行委員会以外の組合員の意見等を聴取するために「座談会」を設置しており、出された意見に基づき、「QRコード」を使った新たな取組みを実施している。個店の魅力再発見・情報発信の強化や地域資源の活用については、スタートラインに立ったところであり、今後は実現に向けて取り組んでいく。

Notice



中小機構中部本部からのお知らせ

「企業間連携」で取り組む「事業継続力強化計画」策定のススメ

令和元年、「中小企業強靱化法」が施行され、防災・減災に取り組む中小企業が「事業継続力強化計画」を策定し、国の認定を受けるケースが増えておりますが、近時はサプライチェーンにおける垂直的連携、組合等を通じた水平的連携等、事業者間で連携し、対応力をより強固・確実なものとする動きが活発化しています。

中小機構中部本部では、企業単体での計画策定はもちろん、特に「連携型」の計画策定を行う中小企業の皆様へのアドバイザー派遣（無料）を、積極的に推進しています。ぜひ、お気軽にお問い合わせください。

「事業継続力強化計画」(単独型) 策定のメリット

緊急時ではもとより平時における経営環境の「棚卸と改善効果」があります



「連携事業継続力強化計画」(連携型) 策定のメリット

連携型は、単独型に加えて、次のような導入メリットが見込まれます



協力関係の構築により、平時においても得意分野の補完、共同生産・受注・販路開拓など、業績拡大に挑戦する取り組みが期待できます

(お問い合わせ先)

中小機構中部本部 企業支援部 企業支援課

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-2-13 名古屋センタービル4階

電話：052-220-0516